

市の魅力を歌に
作詞作曲し寄贈

小田原

南足柄市で
早咲き桜の普

及活動に取り組む「春めき財団」（同市塚原）の古屋富雄理事長（73）が小田原の魅力伝えるために自身で作詞作曲した3曲の歌を収めたCDなどを小田原市の加藤憲一市長に寄贈した。写真。

3曲は小田原の自然や歴史、食文化などを紹介する「小田原ってさ」、市内から電車通学する女性を描いた「小田原の君」、市内の実家に帰って疲れを癒やす様子を描いた「小田原のまち」。財団監事の中島芳男さん（69）が音楽動画を制作し、ブルーレイディスクに

も収めた。

11月28日に市長室を訪れた古屋理事長は「曲を通じて魅力あふれる小田原を多くの人に知ってもらいたい」と話し、楽曲を手渡した。音楽動画を視聴した加



藤市長は「市のプロモーションに役立てたい」と話していた。（佐野 克之）